# ながはま見聞録
Nagahama Hotnews

このコーナーは、長浜の見どころ、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介します。あなたが知っている旬の話題などがあれば、市民広報課（☎65－6504）までお知らせください。

**長浜市公式 SNS**

●長浜の催しや風景など、自慢の一枚をインスタグラムに投稿してください。長浜市公式インスタグラムアカウント「#みんなのちょぴっく」で紹介します。詳しくは市ホームページをご覧ください。
●見聞録のイベントは市公式Facebookページでもさらに詳しくみることができます。

▲市ホームページ　▲ほっとにゅ～す

**11月17日(土)、18日(日)**

## 豊かな表現の作品が勢揃い

曳山博物館伝承スタジオで、「湖北のアール・ブリュット展2018」が開催されました。

アール･ブリュットとは作者自身の想像力から湧き上がる自然発生的な芸術表現のことです。

今回は湖北在住のしょうがい者による作品を中心に県内の作品など、約80点が展示。見ごたえがあり、訪れる人々を惹きこむような力作が並びました。

**11月18日(日)**

## 世界王者をめざして競いました

竹生島の都久夫須麻神社（つくぶすまじんじゃ）で、第２回かわらけ投げ世界選手権が開催されました。

素焼きの小皿に願い事を書いて投げ、鳥居をくぐると願い事が叶うとされている「かわらけ投げ」。様々な国の人たちが、様々な投げ方で鳥居をめがけてかわらけ投げを行いました。

競技のほか、参加した人たちはびわ湖のクルージングも楽しめ、湖北長浜を満喫できました。

**11月18日(日)**

## 子育て世代が集まれる場

リュートプラザで長浜まるごと応援フェスタ「ながまるフェスタ」が開催されました。

子育ての喜びや楽しさを感じてもらえればと実行委員会が企画したもので今年で２回目。

会場では滋賀文教短期大学の学生たちによる演劇、市内で活躍するグループによる人形劇などが行われました。多くの親子連れで、会場は笑顔で溢れました。

**11月23日(金・祝)～27日(火)**

## 子どもたちの力作が並びました

「第70回長浜市子ども美術展覧会」が長浜文化芸術会館と木之本運動広場体育館で行われました。

市内69の園や小・中学校などから寄せられた平面・立体造形、書写など約2,000点もの作品が展示されました。

自由でのびのびした作品や、細かなところまでしっかりと作りこまれた作品など、様々な美術作品が会場を彩りました。

**12月１日(土)**

## 長浜の冬の味覚をＰＲ

えきまちテラス長浜で鴨料理のＰＲが行われました。

湖北の鴨は厳しい冬を乗り切るため、身が引き締まり、また、脂が多くのっていることから、冬の味覚として親しまれています。

この日は天然の真鴨の肉とつくねが入った鴨汁のほか、新たなブランドとして注目を集めるビワマスを使ったミニどんぶりが振舞われました。

**12月１日(土)**

## 市民活動のつながりの輪が広がりました

市民活動団体の交流などを目的としたイベント「みんなでつながるひろば」がリュートプラザで行われました。

今回で２回目となるこのイベントでは44団体、100人以上が参加し、それぞれの活動内容を紹介するブースが設けられました。

そのほか、七輪を囲んでゆったりとした時間を過ごせる「よりあいタイム」や情報交換ができる「おしゃべりタイム」が行われ、参加者にとって充実した１日となりました。

**12月８日(土)**

## 楽しく人権を学ぶつどい

毎年恒例の「湖北地区人権のつどい」が湖北文化ホールで行われ、多くの地域住民が参加しました。

この日の講師は、大笑い福祉使・落語家の交遊亭楽笑（こうゆうていらくしょう）さん。手話をしながらの落語で、コミュニケーションや支えあいの大切さを訴えました。

参加した人は、楽しい落語に大笑いしたり、頷いたりしながら、人権への理解を深めました。

**12月８日(土)**

## 自分の思いを外国語でスピーチ

日本人は外国語で、外国人は日本語で話す弁論大会「ＹＯＵ弁（ユーべん）　ＩＮ　ＮＡＧＡＨＡＭＡ2018」が国際文化交流ハウスＧＥＯで開催されました。

日本に来て感じたこと、日本の楽しいところなどを紹介。ユーモアも織り交ぜたスピーチで会場は笑いや拍手が起こりました。

また同大会は今年記念すべき30回目を迎えたということで、スピーチ後には「世界のお祝い料理を楽しむパーティ」が開かれました。